

協議事項20

国際交流の取組について

国際交流の取組について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和7年8月26日提出

神戸市教育委員会事務局
事務局長 竹森 永敏

国際交流の取組について

1. 神戸・ブリスベン教育交流中学生派遣プログラムの再開

(1) プログラムの概要

- ・姉妹都市であるオーストラリア・クイーンズランド州ブリスベン市(昭和60年7月提携)との国際交流を通じて、外国の生活、文化、言語など幅広い知識と経験を身につけると同時に、日本の文化や伝統を紹介することにより国際理解を深め、国際性を養うことを目的として実施

(2) これまでの経緯

昭和63年 ブリスベンとの教育交流開始(平成10～21年中断、22年再開)
令和2年～ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止
令和7年 派遣交流再開 ※姉妹都市提携40周年

(3) 本市からの派遣

- ①参加校 太山寺中学校8名(3年生3名、2年生5名)
英語教育の取組状況や受入時の交流計画、生徒の意欲等の総合的評価により選考(8校応募)
- ②日 程 令和7年8月1日(金)～8日(金)(8日間)
- ③内 容 ホームステイ、Earnshaw State College 学校訪問・授業参加、ブリスベンの市内見学(ブリスベン市庁舎、オーストラリア動物園見学等)、在ブリスベン日本国総領事館表敬訪問 等

【派遣生徒の声】

- ・多様なルーツの生徒が互いを尊重し意見を伝える姿に、国際理解を肌で感じた。
- ・食事など生活様式の違いから日本の生活が当たり前でないことに気づいた。
- ・英語コミュニケーションは即興性が必要と痛感した。



Earnshaw State College の生徒たちとの
集合写真



神戸の魅力を英語で紹介

(4) ブリスベン市からの学生受入れ

- ①参加校 Earnshaw State College 8名
- ②日 程 令和7年9月12日(金)～19日(金)(8日間)
- ③内 容 ホームステイ、太山寺中学校訪問・授業参加、市内見学、市長訪問等

(5) 交流参加校の今後の取組

- ・訪日受入時は全校で歓迎セレモニー、授業交流、合唱練習等のプログラムを実施
- ・派遣報告を「イングリッシュフェスティバル」(中学生の英語プレゼン大会)で実施
- ・交流の経験を、英語体験プログラムやオンライン交流等生きた英語の学びにつなぐ

2. 夏休みのALTとの交流プログラム

(1) 概要

夏休み期間に、神戸市立中学校の生徒を対象とした2つのALT(外国語指導助手)との交流プログラムを開催。神戸の英語教育の特色の一つである、多数配置^{*}しているALTの強みを生かした取組み。※13カ国・215名

多くのALTとの交流を通じ、英語によるコミュニケーションの楽しさ・多様な文化の体験機会とするとともに、英語に対する興味関心を高め、日頃の授業でも積極的に言語活動に取り組むことを目的とする。

(2) ALTalk (アルトーク)

①日 時 令和7年7月23日(水)、24日(木)

②参加数 市立中学校9校 126名 (ALT 53名)

③内 容 ALT数名のチームが実施校を訪問。少人数の生徒と約2時間の交流を通し、個々の英語力に合わせたコミュニケーション活動を行う。

(インタビュー、クイズ、ゲーム、ミニディベート等)

【参加生徒の声】

- ・英語の会話は苦手だが、ALTが一つ一つリアクションしてくれ話しやすかった。
- ・英語で話す楽しさを学んだ。英語でもっと伝えられるようになりたい。



ALTの出身国や文化について質問



ゲームしながら英語によるコミュニケーション活動

(3) 英語サマースクール (共催：神戸市外国語大学)

①日 時 令和7年8月21日(木)、22日(金)

②会 場 神戸市外国語大学 大ホール、教室

③参加数 2日間計74校378名 (ALT 各日約180名)

④内 容

- ・ALTとの交流プログラム (KOBE WORLD FAIR)

多くの国や地域から来ているALTが、英会話・クイズ・ゲームなどのアクティビティを行いながら自国の文化や習慣を英語で紹介、中学生はグループで各教室を巡って体験する。

- ・神戸市外国語大学生による外国の文化や言語の紹介

ロシア・中国・イスパニアの各学科の学生が、それぞれの言語であいさつ等を教え、文化や習慣の違いを紹介する。

【参加生徒の声】(※R6年度アンケートより)

- ・3つの活動を通して楽しく英語が学べた。もっと英語を話したいと思った。
- ・ALL ENGLISHだったけれどわかりやすく話してくれ、リラックスして挑戦できた。
- ・他の国のことをたくさん知ることができた。もっと国際的なことを勉強したい。



13 国 の ALT 代 表 者 か ら 自 国 の 紹 介



様 々 な テ ー マ に よ る 活 発 な 英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン

【参考】

1. その他の国際交流の取組

(1) 姉妹都市等との派遣交流

親善協力都市であるアメリカ・フィラデルフィア市（1986年10月締結）との相互交流再開予定。

(2) オンライン交流

- ・小・中・高校各校でオーストラリアや台湾など13の国や地域とオンラインや手紙での交流を実施（R6年度実績：小学校19校、中学校5校、高校6校）
- ・フィラデルフィア市主催のオンライン交流プログラムへの参加（市内高校希望生徒）

2. その他のALTとの協同による取組

(1) ALTとの協同授業

小・中・高・特別支援学校全校にALTを配置。ALTとの協同授業により、実践的で質の高い英語教育に取り組んでいる。小学校では、すべての外国語授業をALTと協同で実施。

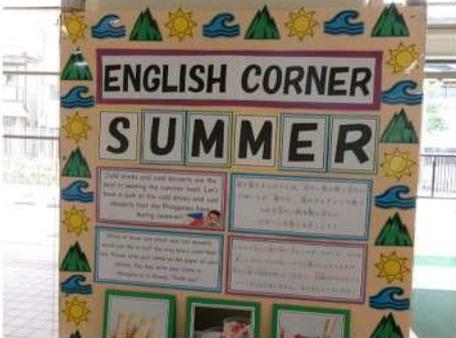
(2) 対話型体験プログラム

複数のALTが学校を訪問し、学校を外国に見立てた生活の疑似体験やプレゼンテーション、ゲーム等を通じて交流する体験プログラム（キャラバンプログラム）を実施。ALTを相手に、その場に応じた会話を楽しんだり、異なる複数の文化に親しんだりする機会としている。

（R6年度実績：小学校93校、中学校41校、高校6校）

(3) 学校内の国際交流活性化

校内の空きスペースを活用し、全ての小中学校で英語ルームや英語スペースを設置し、登下校時や休み時間など授業以外でも、ALT と日常的に対話・交流できる機会を充実。



3. 異文化交流事業

小学校低学年を対象に異文化を体験的に学ぶ「One Worldプログラム」を実施。外国にルーツのある地域の外国籍の方々や留学生、ALT等、多様な国籍の人材を講師として実施。
(R6年度実施校数：延べ233校 20か国)